

## 資料5 全国セミナーにおけるアンケート及び意見・要望の集計結果

### 1. 概要

#### 1.1 調査対象者と調査方法

アンケート調査は、セミナー参加者（受講者）に対して、会場入場の際に調査票を配布し、セミナー終了後に回収箱により回収した。

#### 1.2 開催場所とアンケート回収率

セミナーは、全国7箇所で開催され、各会場の入場数及びアンケート回答者数は以下のとおりである

表1.1 各会場の入場者数及びアンケート回答者数

	回答者数	回答者数（回収率）
刈谷会場	250名	154名（61.6%）
札幌会場	142	69（48.6）
川崎会場	310	174（56.1）
藤沢会場	351	223（63.5）
北九州会場	293	180（61.4）
神戸会場	286	214（74.8）
東京会場	291	206（70.8）
全体	1,923	1,220（63.4）

#### 1.3 調査項目

調査は、次の項目について選択肢及び自由回答方式により実施した。なお、アンケート票の問は、表1.2に示す。

- 問1. セミナー開催の周知方法（選択肢：複数回答）
- 問2. P R T R についての知識程度（選択肢）
- 問3. 講演内容（化学物質のリスク管理とP R T R）の理解（選択肢）
- 問4. セミナーで知りたかったこと（選択肢：2つ以内で回答）
- 問5. セミナーで知りたかったことの理解の状況（選択肢）
- 問6. P R T R について
  - 制度化の必要性（選択肢）
  - 化学物質の排出抑制への期待（選択肢）
  - 事業所毎の排出・移動量の情報公開の必要性（選択肢）
- 問7. P R T R の制度化・普及に向けての意見、要望（自由回答）
- 問8. フェイスシート（選択肢）
- 問9. パイロット事業に関する感想、意見、要望（自由回答）
  - （回答者をパイロット事業協力者に限定）

表1.2 アンケート調査票

問1 本セミナーの開催を何によって知りましたか。該当番号に をつけてください。

1. ダイレクトメール	5. マスコミ報道
2. 自治体の広報誌等	6. インターネット
3. 業界等からの案内	7. 知人・友人
4. 組合やNGO等の機関誌、案内	8. その他( )

問2 本セミナーに参加する前、PRTRについてどの程度ご存じでしたか。該当番号に をつけてください。

1. 内容も含めてよく知っていた。
2. 内容も含めてある程度知っていた。
3. 名前だけ知っていた。
4. 全く知らなかった。

問3 本セミナーの講演等の内容はわかりやすかったですか。該当番号に をつけてください。

講演 : 1.わかりやすかった 2.ふつう  
3.わかりにくかった

パイロット事業中間報告の説明 : 1.わかりやすかった 2.ふつう  
3.わかりにくかった

問4 本セミナーで知りたかったことは何ですか。主なものを2つまで選んで、該当番号に をつけてください。

1. PRTRの目的
2. PRTRの仕組み
3. PRTRの利点や課題
4. パイロット事業の概要
5. パイロット事業の排出・移動量集計結果(全体の傾向)
6. パイロット事業の排出・移動量集計結果(個別物質の排出状況)
7. PRTRの将来動向
8. 環境庁の化学物質対策に関する考え方
9. その他( )

問5 問4で知りたかったことは、本セミナーに参加してわかりましたか。該当番号に をつけてください。

1. よくわかった。	3. あまりわからなかった。
2. だいたいわかった。	4. 全くわからなかった。

問6 以下の点について、現在のあなたのお考えに一番近い番号に をつけてください。

PRTRのわが国における制度化は、

1. 必要と思う	2. 必要ないと思う	3. わからない
----------	------------	----------

PRTRは化学物質の排出抑制に、

1. 役立つと思う      2. 役立たないと思う      3. わからない

事業所毎の排出・移動量の情報公開について、

1. 必要と思う      2. 必要ないと思う      3. わからない

問7 今後のPRTRの制度化や普及に向けての検討にあたって、ご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

<フリーアンサー>

問8 あなたの所属について、該当番号に をつけてください。

1. 企業  
業種 ( )  
パイロット事業に a. 参加した      b. 参加しなかった
2. 業界団体
3. 行政 ( 国、地方公共団体 )
4. 研究者
5. NGO
6. 一般市民 ( 4.5以外 )
7. 報道関係
8. その他 ( )

問9 パイロット事業にご協力いただいた事業者の方で、今回のパイロット事業に対するご感想、ご意見・要望などがありましたらご記入ください。

<フリーアンサー>

## 2. アンケート結果

### 2.1 回答者の所属

#### (1) 全回答者及び会場別回答者

回答者の所属は、「企業」が最も多く61.6%（751名）、次いで「行政」が13.3%（162名）、「一般国民」が10.0%（122名）であった。

会場別に所属を比較すると、パイロット事業を実施した刈谷、川崎では「企業」の割合が高く、それぞれ73%、71%を占め、神戸でも企業が71%と高かった。札幌、北九州では企業に次いで「行政」の割合が35%、22%と高く、藤沢では「一般国民」の割合が21%と7会場で最も高かった。

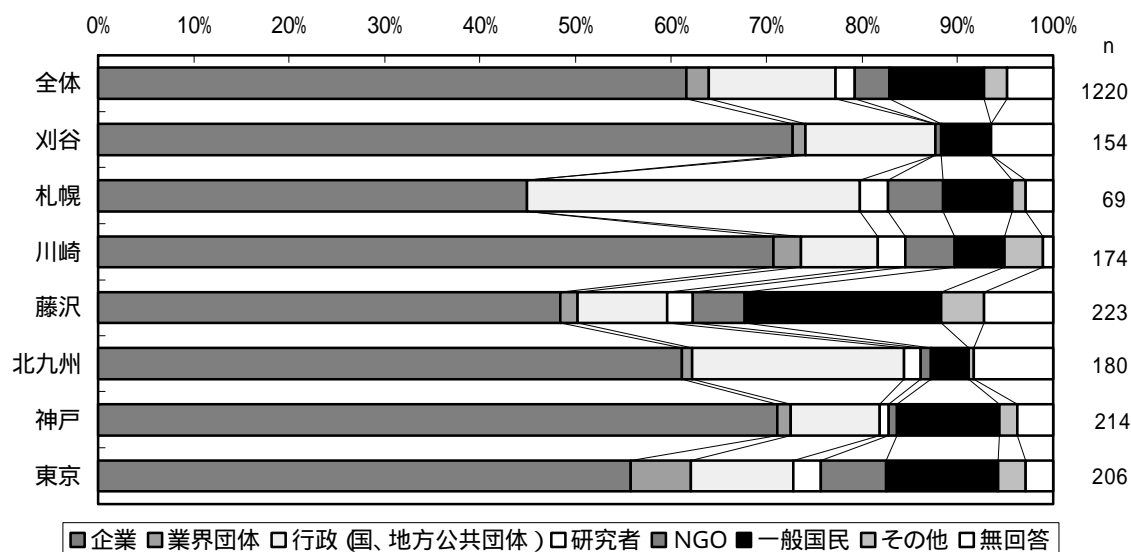


図2.1 回答者の所属（会場別）

#### (2) 企業のパイロット事業参加の状況

企業参加者のうち、「パイロット事業」に参加した企業からの参加者は、パイロット事業が行われた刈谷（63.4%）、川崎（49.6%）、藤沢（38.0%）で高かった。

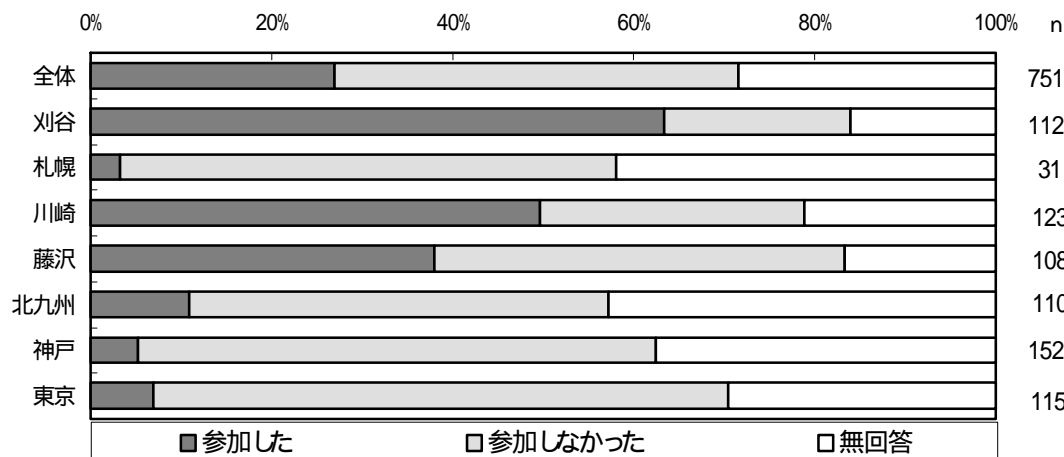


図2.2 パイロット事業参加状況別集計

## 2.2 セミナー開催の周知方法

### (1) 全回答者

セミナーの開催を「ダイレクトメール」で知ったと回答した者が33%（403名）と最も多く、次いで「自治体の広報誌等」20%（246名）、「組合やNGO等の機関誌・案内」17%（208名）であった。

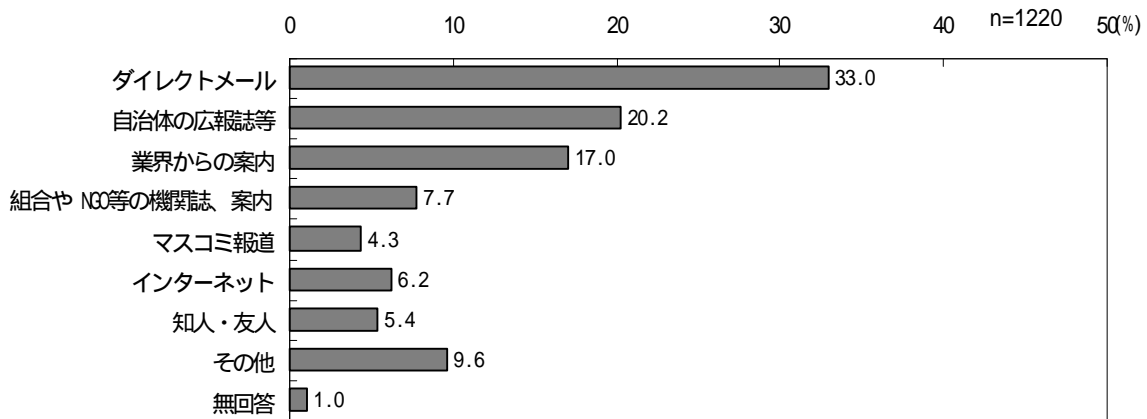


図2.3 セミナー開催の周知方法（全回答者）

## 2.3 PRTTRの認知度

### (1) 全回答者

PRTTRについて「内容も含めて知っていた」（「内容も含めてよく知っていた」と「内容も含めてある程度知っていた」の合計、以下同じ）と回答した者は、60%（728名）と過半数を占めた。「全く知らなかった」と回答した者は、20%（249名）であった。

### (2) 会場別回答者

会場別にPRTTRの認知状況を見ると、パイロット事業を実施した川崎、刈谷では「内容も含めて知っていた」と回答した者が84%、74%を占め、次いで東京が71%と高かった。これに対して、北九州、札幌では、「全く知らなかった」と回答した者の割合が42%、35%と、他の会場に比べて高かった。

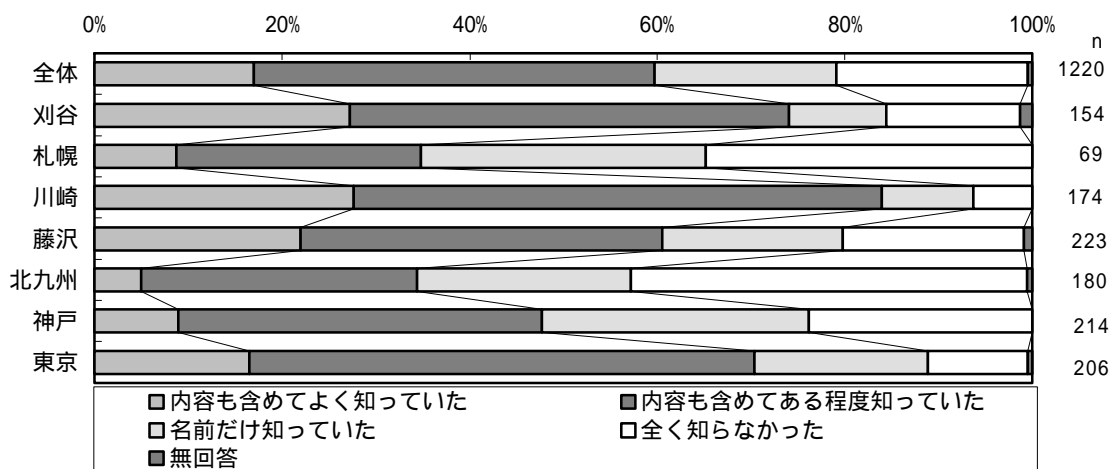


図2.4 PRTTRについての認知度（全体と会場別）